

2023年11月21日

報道機関 各位

第86回 海洋教育フォーラム

『脱炭素社会を切り拓くために。産業界と大学による 洋上風力分野における人材育成の新たなしくみづくり』

長崎大学海洋未来イノベーション機構は、日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会と連携し、若い世代への海洋の教育に取り組んでおり、今年も下記のとおり「海洋教育フォーラム」を開催いたします。洋上風力分野における人材育成については、永安武長崎大学学長もプラネタリーヘルスに資する取組みとして、脱炭素社会づくりに向けて、全力で取り組んでいく長崎大学の重要施策との一つと位置づけております。ぜひ広く周知いただくとともに、当日はぜひ取材いただければと思います。

記

日 時： 11月26日（日）13:00～17:45

場 所： 出島メッセ長崎 2階 コンベンションホール

プログラム： 別紙参照

参加申込： <https://nagasaki-kaiyou.com/>



昨年度の海洋教育フォーラムの様子

長崎大学が代表となり提案した「産学のコンソーシアムによる洋上風力発電大学教育カリキュラム等整備事業」が、令和5年8月17日に経済産業省洋上風力発電人材育成事業に2年目の採択を受け、今回のフォーラムの共同主催者として参画している、産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（国内大学及び電力会社等を中心とした9機関で構成される洋上風力発電に関する人材育成を目的としたコンソーシアム）としても、若い世代の啓発に取り組むとともに、大学での新たな教育のしくみとカリキュラムづくりを進めています。

今回の海洋教育フォーラムでは、基調講演に国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問の末吉竹二郎様をお招きし、グローバルな視点から見た日本のカーボンニュートラルへの取組の状況や、経済産業省の施策や我が国の洋上風力に関する技術開発の取組についてお話しいただきます。

また、大学からは、脱炭素社会の実現に向けて、洋上風力の導入拡大と産業づくりが重要となる中、大学と産業界が連携した人材育成のしくみづくりについてご紹介し、総合討論では、「再生可能エネルギーの切り札：洋上風力！！ 学生にとって魅力ある産業になるには」と題して、学生、企業及び大学等の教育機関に加え、会場の皆様とも意見交換を行います。

脱炭素社会が実現できるか否かは、国や地域の競争力にも影響を与えるテーマになっております。また、脱炭素社会づくりはビジネスチャンスでもあり、イノベーションの種ともなるものです。次の世代の未来のためにも、幅広い世代の皆様と共に考えて行く場にしたいと考えております。多くの皆様に、ご来場、ご視聴いただくために、リアルとオンラインの併催にて予定しております。

なお、このフォーラムは特に若い世代への啓発を意識していることから、ご来場いただいた方のうち高校生に対しては、すべての皆様に、日本船舶海洋工学会が作成いたしました高校生向けの学習教材「海洋へのいざない」第2版（最新号）を贈呈いたします。

※本シンポジウムは「長崎オープンイノベーション拠点 OICN」の活動の一つとして企画するものです。長崎オープンイノベーション拠点は、長崎大学研究開発推進機構、長崎県産業労働部、長崎県産業振興財団により2020年に設立されました。

OICNとは Open Innovation for Carbon Neutral（オープンイノベーションカーボンニュートラル）の略で、長崎オープンイノベーション拠点の推進分野のうち「海洋」・「カーボンニュートラル」分野を加速するため活動している新たな産学連携機能です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学海洋未来イノベーション機構 森田、藤本

TEL : 095-800-4135 E-mail : oicn@ml.nagasaki-u.ac.jp